

「開かれた安管協」めざして開設したホームページと交通安全中央大会での栄誉

愛媛県大洲市 愛媛道協会長
小林 哲之

外部から誰もが自由にアクセス

年頭から連載させていただいたこの頁も、今号をもって最終回を迎えることになった。道路、車、人間、それを取り巻く環境という複雑な関係性の中に生きる交通社会では、いかに安全な運転をしているつもりでも、いつどこで想定外の事態が発生しないとも限らない。運転者の周囲には常に事故につながる要素が潜在しているということを忘れてはならないと思うのである。大げさなようだが、私は交通社会の現実を、前後左右から敵弾が飛んでくる「常在戦場」と呼んで、運転管理者の心構えの重さを訴えてきたのだった。

1981年(昭和56年)から2005

導を得て新しい試みにチャレンジしたのだった。

コンテンツは○安全運転管理者協議会とは○安全運転管理者等について○安全運転管理者制度○安全運転管理講習会○えひめ安管ニュース○交通事故発生状況○警察からのお知らせ○リンク・推進の活動事例などで、それぞれの項にブロックダウンした解説、お知らせを掲載した。

このホームページがオープンしたのは

大洲城



絵・市川興一

年(平成17年)までの25年間に及んだ大洲安全運転管理者協議会会長とともに01年から05年までの4年間にわたって愛媛県安全運転管理者連絡協議会の会長を引き受けしていた私は、安管制度のもとで車を利用するドライバーは、その家族をはじめ、知人や友人の模範となって安全運転の基本を示し地域全体の意識を高める「安全リーダー」として行動しようという呼びかけを進め、これまでの号でご紹介したように数々の安全キャンペーンや改革改善等を実行してきたのである。

愛媛県安管協の組織と事故防止への取り組みをお知らせするホームページを作ることにしたのは、私が任期を終える少し前からのことだった。やはり広報は重要だ。県内4500事業所を数える協議

会メンバーだけでなく、外部から誰でも自由にアクセスして、管理者制度の思想とわれわれの組織の全容や具体的な活動を知り、理解してもらえようになれば、地域における事故防止の効果が高まるのではないかと思われた。

コンテンツも充実して開設

私どもが進めてきたさまざまな運転管理の姿をもっと広く知っていただくことが、地域に安全の輪を広げるために必要だという思いが強くなっていったのである。当時調べたところでは、全国の都道府県で、安全運転管理者の団体がホームページを発信しているところはごく少数であり、09年後半でも15県という状況である。当時の県警交通安全課の協力と指

04年3月1日であった。そして、「えひめ安管ニュース」を定期的に更新するようになった。このホームページは愛媛県協議会として自らの歩みを確かめると同時に、安全運転の専門的な推進役としての役割を自他ともに認めるセーフティメディアの柱になったと思うのである。私の安全運転管理者団体におけるお手伝いは、早くは今から30年も前に始まったものだった。そのころから安全運転をキーワードに一種の危機管理意識を養ったことを有り難く思う。しかしながら、こういう活動がのちに表彰などの晴れがましい結果をもたらすとは予想していなかった。

大洲の代表者表彰 千年に一度の確率

それが、04年1月の第44回と翌05年1月の45回の交通安全中央大会の場で思いがけない役割と栄誉を受けることになった。第44回では大会前日の分科集会(全国企業部会)で愛媛県が議長に当たることになっており、私が選任されて議事進行を務めた。そのため大会当日に常陸宮殿下ご夫妻、小泉総理、来賓閣僚とステージで同席することになった。45回大会では、全国の優良安全運転管理者協会の受賞者代表として大洲安管協

会長が選ばれることになった。愛媛県だけでも20の協議会があり、このようなありがたい栄誉は千年に一度くらいの確率であろうと思われる。前年と同じくステージ上の両殿下の前で表彰を受けることになった。これを花道にというわけではないが、同年5月に私は大洲と県の協議会会長職を辞した。

そしてつい先日には、来年1月開催の第50回交通安全中央大会で交通栄誉章「緑十字大章章」受章のご通知をいただき、まことに身に余る栄誉と深く感謝している。

私事ながら本年9月をもって私は会社の経営を次世代に譲ることにした。地に足の着いた堅実かつ大胆な経営が求められるきびしい時代であるが、安全運転管理の教えが浸透した会社の体質は今後も変わることはないと思っている。

振り返れば、長年にわたり戦争の最前線を行く戦士さながらに緊張感と使命感を失わずに、このことは自分の人生観に大きな影響があったように思われる。これからも「これでいいのか」という弊社の社訓に自問自答しながら、地域の交通安全と平和を求める生きかたを続けていくことにしたい。



小林哲之(こばやし さとし)さんのプロフィール
1942年(昭和17年)愛媛県大洲市生まれ。愛媛道協株式会社社長。大洲高校から麻布獣医科大学(現・麻布大学)に進み65年卒業と同時に父君が創業し経営する愛媛道協に入社、83年社長となり今夏、会長に就任。早くから交通安全の重要性に目を向け81年大洲安全運転管理者協議会会長に就任(在任25年)、89年愛媛県安全運転管理者連絡協議会副会長(同12年)、2001年より会長(同5年)をつとめ、愛媛県高速道路交通安全協会副会長(同5年)なども歴任した。事業所の運転管理を中心に地域社会における安全活動の推進力となって強いリーダーシップを発揮し、その功勞により2005年春の第45回交通安全国民運動中央大会においては全国優良安全運転管理者協議会の代表として表彰状を受けた。